



環境公共 通信

“地域づくりの新しいかたち” 環境公共



第25号 平成27年6月
発行／環境公共推進会議事務局
〒030-8570 青森市長島1-1-1
青森県農林水産部農村整備課内
TEL 017(734)9545FAX 017(734)8153

■最近の話題

環境公共を支える『低コスト化技術』施工マニュアルを作成しました

青森県では、「環境公共」の取組に平成20年度から着手し、これまで、環境保全や農地の汎用化のための新技術の効果検証と普及に取り組んできましたが、農家の収益性向上に有効な新技術は、初期投資や農家負担が支障となり、普及拡大が進まない状況にありました。

このため、県では「環境公共を支える低コスト化技術促進事業」を立ち上げ、暗渠排水等のきめ細やかな整備を低額で実施できる新技術の実証試験とその効果検証を行い、農地の整備状況と栽培作物等を踏まえた新たな低コスト化技術工法を確立するとともに、その技術の普及促進のための施工マニュアルを作成しました。

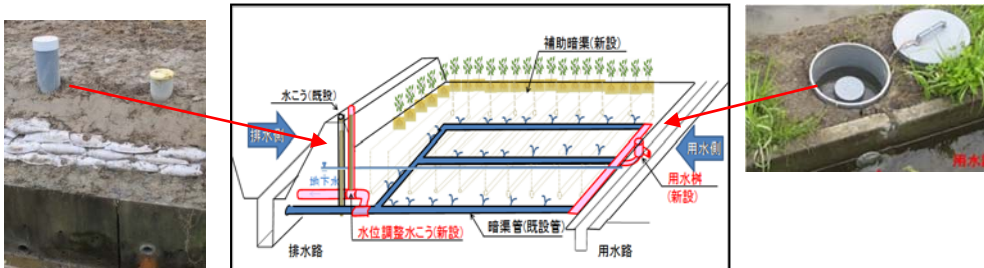


環境公共を支える「低コスト化技術」施工マニュアル

環境公共を支える「低コスト化技術」の概要

●低コスト「地下かんがい」

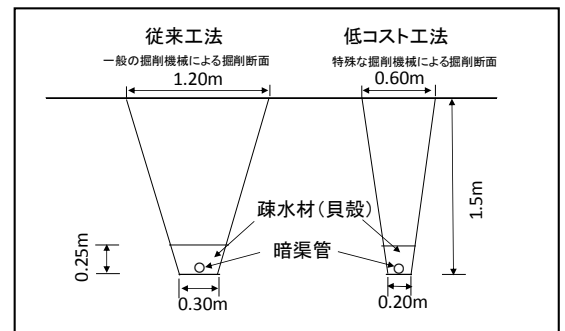
本工法は、暗渠排水が整備された水田において、既設の暗渠管を利用するもので、用水路側に取水用の用水柵を設置し、排水路側に水位調整水こうを設置することにより、安価に地下かんがいシステムを導入するものです。



低コスト「地下かんがい」

●低コスト「畑の深暗渠」

本工法は、深さ1.5mの深暗渠を特殊な細型バケットを装着したバックホウを使用することにより掘削土量を従来工法の半分に減らし、低コスト化を図るものです。



低コスト「畑の深暗渠」

低コスト化技術を導入することで、作物の品質向上や収量増、また、営農の効率化が見込まれます。

上記工法の導入を検討したい方は、県農林水産部農村整備課、または最寄りの各地域県民局農道ほ場整備課（下北は農村整備課）に御相談ください。

■「環境公共」事例紹介

石持漁場環境公共工事勉強会「お魚たちの住み家「魚礁」について学ぼう」を開催しました

平成26年7月2日に東通村の東通小学校・野牛漁港において、東通小学校4年生42名を対象に、石持漁場環境公共工事勉強会「お魚たちの住み家『魚礁』について学ぼう」を開催しました。

勉強会では、海の大切さを知ってもらうことを目的に、魚礁の製作工事の見学や海に生息する生き物たちとのふれ合いを行いました。環境公共コンシェルジュの奥本さんからは、山・川・海をつなぐ水循環と水をきれいに保つ大切さについて説明を受けるとともに、県の職員からは、魚礁の役割、工事の方法、効果などについて説明を受けま



きれいな水の大切さや、魚礁について勉強



魚礁に触れる子供たち

した。魚礁の製作現場では、作業内容についての説明後、子供たちは魚礁の周りに集まり、直接魚礁に触れて、その大きさに驚いていたようです。最後に「これからも清掃活動を通し海を守っていきましょう。」と挨拶があり勉強会は無事終了しました。



魚礁を前に記念写真

「小泊漁港の勉強会～漁港ってなに？」を開催しました

平成26年10月28日に中泊町の小泊漁港（下前地区）において、小泊小学校5年生22名を対象にした勉強会を開催しました。勉強会では、海



沿岸に生息する生き物観察

の大切さを知ってもらうことを目的に、自分が住んでいる小泊地区の沿岸域で獲れる魚や貝、海藻を、実際に目で見て手で触れ、それぞれの特徴やどのように生息しているのか、漁港と漁港に隣接する施設の役割について学びました。

勉強会当日は、朝から冷え込み、あられ混じりの強い風も吹く寒い日でした。最初に県の職員から、小泊沿岸域に生息する魚介類や海藻について説明があり、子供たちは興味津々な様子で話を聞いていました。その後子供たちはイカ、タコ、アワビなどが入った水槽に集まり、ときどき歓声を上げながら、生き物を手に取って観察しました。次に県の職員から、漁港と漁港にある施設の役割について説明がありました。最後に、漁港の建設工事を行っている工事担当者から防波堤などの工事について説明があり、勉強



寒くても元気にあいさつ



生き物に触れる子供たち

会は終了しました。



漁港の役割について勉強